



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社パルマ
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 誠一

TEL 03-3234-0358

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	819	294.4	57	347.4	52	421.5	35	507.4
2019年9月期第1四半期	207	57.6	12	70.3	10	77.1	5	80.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	5.73	5.27
2019年9月期第1四半期	0.95	0.87

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	4,182	1,939	46.4
2019年9月期	4,379	1,953	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 1,938百万円 2019年9月期 1,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		8.00	8.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	6,552	49.2	553	9.5	530	9.3	371	9.8	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	6,209,600 株	2019年9月期	6,209,600 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	208 株	2019年9月期	208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	6,209,392 株	2019年9月期1Q	6,153,826 株

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

セルフストレージ業界は、機関投資家及び事業会社等が首都圏のビル型セルフストレージへの投資を積極的に進めるなど、セルフストレージマーケットは、建物型セルフストレージを中心に、引き続き堅調に拡大しております。

このような事業環境におきまして、当社は、セルフストレージ業界で唯一の事業者向けフルサービスのソリューションプロバイダー及び投資家向けのプロパティマネージャーとして、セルフストレージビジネスに関するさまざまなソリューションを提供してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は819,001千円(前年同四半期比294.4%増)となりました。損益面では、営業利益は57,790千円(前年同四半期比347.4%増)、経常利益は52,871千円(前年同四半期比421.5%増)、四半期純利益は35,608千円(前年同四半期比507.4%増)となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに賃料債務保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第1四半期累計期間におきましては、新規導入や既存取引先からの受託に加え、ターンキーソリューションサービスで開発販売したセルフストレージからの受託件数も順調に増加し、当サービスは引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は207,656千円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

(ITソリューションサービス)

当サービスでは、ストレージ事業における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第1四半期累計期間は、WEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入室数が堅調に増加し、オンラインをメインチャネルとしたセルフストレージの申込・契約の一般化が進んでおります。当第1四半期累計期間の売上高は6,618千円(前年同四半期比15.4%増)となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、投資家及びセルフストレージ事業者向けにセルフストレージ物件の開発、販売を行っており、セルフストレージ事業を直ちに稼働できる状態で提供しております。当第1四半期累計期間は、引き続きセルフストレージ開発用地の取得・施設の開発を積極的に進め、10プロジェクトの開発が進行しております。第1四半期累計期間は、セルフストレージ物件を1物件売却した結果、売上高は604,727千円(前年同四半期比3,916.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて206,284千円減少し、3,993,761千円となりました。これは主にセルフストレージ施設の用地取得・開発を推進したことにより、仕掛販売用不動産が111,815千円、販売用不動産が227,735千円増加した一方で、前記及び法人税等の納税等により現金及び預金が622,560千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて8,848千円増加し、188,552千円となりました。これは主に撤去物保管拠点として土地が7,000千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて197,436千円減少し、4,182,314千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて155,189千円減少し、2,125,176千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が7,758千円、未払法人税等が111,350千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて28,180千円減少し、117,640千円となりました。これは長期借入金が28,180千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて183,369千円減少し、2,242,816千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて14,066千円減少し、1,939,497千円となりました。これは主に、配当金の支払49,675千円、及び四半期純利益35,608千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より1.8ポイント増加し46.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248,923	1,626,363
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	75,079	79,796
求償債権	267,723	283,764
販売用不動産	—	227,735
仕掛販売用不動産	1,708,061	1,819,877
その他	34,790	112,352
貸倒引当金	△135,883	△157,477
流動資産合計	4,200,045	3,993,761
固定資産		
有形固定資産	3,997	10,128
無形固定資産	30,670	28,598
投資その他の資産	145,035	149,825
固定資産合計	179,704	188,552
資産合計	4,379,750	4,182,314
負債の部		
流動負債		
短期借入金	694,699	701,391
1年内返済予定の長期借入金	1,102,996	1,095,237
未払法人税等	124,642	13,291
前受収益	109,621	112,622
その他	248,406	202,633
流動負債合計	2,280,365	2,125,176
固定負債		
長期借入金	145,820	117,640
固定負債合計	145,820	117,640
負債合計	2,426,185	2,242,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,209	581,209
資本剰余金	491,658	491,658
利益剰余金	879,783	865,716
自己株式	△74	△74
株主資本合計	1,952,576	1,938,510
新株予約権	987	987
純資産合計	1,953,564	1,939,497
負債純資産合計	4,379,750	4,182,314

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	207,645	819,001
売上原価	58,160	583,641
売上総利益	149,484	235,360
販売費及び一般管理費	136,566	177,569
営業利益	12,918	57,790
営業外収益		
受取利息	3	3
償却債権取立益	27	-
その他	37	19
営業外収益合計	68	22
営業外費用		
支払利息	2,847	4,942
営業外費用合計	2,847	4,942
経常利益	10,139	52,871
税引前四半期純利益	10,139	52,871
法人税、住民税及び事業税	237	10,540
法人税等調整額	4,038	6,722
法人税等合計	4,276	17,262
四半期純利益	5,862	35,608

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。